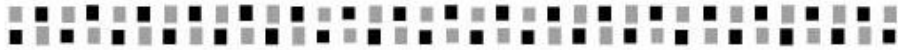




藤本 みのる 通信

Vol 387

2022年1月16日発行



大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

国交省は問題にせず！？

国土交通省鉄道局鉄道サービス政策室で確認したことをお知らせします。

1、JR東日本の時計撤去の方針についての国交省の認識について

答 駅の時計の設置については、鉄道事業者の判断で対応すべきものである。

なお、JR東日本からは、老朽取替や更新時期を迎えた時計について、駅の利用状況やスマートフォン等の普及により、多くの利用者が時間を確認する手段を有していることや保守メンテナンス等に係る人手の確保困難等を総合的に勘案して、一部の駅構内で時計の設置見直しを実施していると聞いている。

2、他のJRの実施状況について

答 報告を受けておらず承知していない。

国交省は駅構内の時計撤去について、特に問題視していないようですが、実は鳥沢駅構内のトイレ撤去の時も同じ対応でした。この時JRは方針を変えませんでしたでしたが、署名運動などでの住民の声や駅前公衆トイレ設置へと結びついたのでした。今後、ダイヤ改正での運行本数の減少も心配されることから、声をあげることが重要です。

(JR東日本八王子支社042-627-6498)

署名運動で声をあげましょう。駅に時計があるのは当然のことです。

JR駅の時計設置を求める
要望書

2021年秋以降、中央本線の内、少なくとも大月市内6駅全部の時計が撤去されました。

電車が時刻表どおり運行するのを当たり前にしてているJRにとって、正確さをはかる時計の設置は本来欠かせないものです。時刻表通りの運行は、運転手の技量向上、常に最新の技術を取り入れる並々ならぬ努力のたまものと理解しています。それだけに時計の撤去は、経費節減以上に大切なものを投げ捨てることにならないでしょうか。

【藤本みのる活動日誌】

1月 9日(日) 大月市消防団第6分団第5部初出

1月11日(火) 都留高生との意見交換会(大月市議会)